

■部会 Report

技術部会 自然環境WGの活動紹介

代筆 技術部会長 鹿野 敏
鹿島建設株式会社

平成19年度の活動

矢後リーダー（富士電機システムズ㈱）を中心にメンバーは6名で活動しました。

活動方針

「自然環境と風車の共存」

主要テーマ

「風車を与える景観とその影響」

施策

「風車設置前後の比較および風車設置後の景観対策（各県における景観条例対策調査含む）」

活動結果

7/13 第1回WG開催 5名参加
今期テーマの絞込み

8/3 第2回WG開催 6名参加
・前回の会議で決定した各自治体別の景観条例を調査し、傾向や注意点をまとめた内容の報告を実施した。

11/16 第3回WG開催 4名参加
(1) 景観条例に関するまとめ方方針の決定
景観条例が制定されている都道府県を調査・確認し市町村レベルにて制定されている事を確認した。

これより一覧表化して注意事項などを精査し、JWPA会員への景観の規制情報提供を依頼する。

(2) これを主眼に来年に専門家の講習開催を計画する。

12/7 第4回WG開催 5名参加

(1) 景観条例に関するまとめ方方針の決定
景観条例が制定されている都道府県を調査・確認し市町村レベルにて制定されている事を確認しており、この一覧を更に一覧化したものを年内に作成する。

日本全国の市町村を1件ずつ調査する事は極端な負担となるのでGr員が関わった部分のある程度埋め込む。

この一覧を基に事業者とJWPA会員へアンケート要請を行う事としたい。

景観条例で風車建設計画に支障・変更・障害となった事案を要注意レベルで添削して利用価値を持ちたい。

(2) これを主眼に来年に専門家の講習開催を計画する。

景観条例に関するまとめ方を決定し、この一覧を年内に作成し、一覧を基に事業者とJWPA会員へアンケート要請を行う計画であったが、一覧のまとめとアンケートの項目の統一・確認の検討に至ってなく、平成19年度の活動を終了した。

平成20年度の活動

平成20年度は環境部会として組織替えをします。部会長 鹿野理事で原則として毎月第4火曜日16時から開催予定です。

テーマ

「風車建設に関わる自然環境、許認可などに関する情報収集、課題の検討を行う。」

内容

1. 昨年行われた環境省と資源エネルギー庁の合同勉強会「風力発電施設と自然環境保全に関する研究会」の論議の検討
2. 昨年から環境省が行っているバードストライクの防止策の研究の検討

皆様の積極的な参加をお待ちしています。参加申込は事務局まで。